

目 次

はしがき

序章 第2次グローバル経済下の日米企業	1
1 この物語のゴールはどこか?	1
2 日本とアメリカ	2
3 日米企業経営史を論じるための枠組み	3
(1)国際比較・国際関係史 (2)近代企業 (3)内部化理論とバリューチェーン	
(4)資源配分における専門経営者の優位性	
4 構 成	6

第 I 部 工業化と近代企業の形成

第1章 アメリカにおける大企業の形成	13
1 第1次世界大戦期までの経済成長	13
(1)工業化の始まり (2)市場の拡大と統合 (3)発明と特許制度	
2 19世紀の企業活動	16
(1)ペンシルバニア鉄道 (2)スプリングフィールド兵器廠	
3 近代企業産業の形成	19
(1)アメリカ最大企業100社 (2)ビッグ・ビジネスの経営組織 (3)US スチール	
(4)スタンダード・オイル (5)アメリカン・タバコ	
第2章 日本の工業化と企業	31
1 第1次世界大戦以前の経済成長	31
(1)持続的な経済成長 (2)工業所有権制度と発明活動	

2	第1次グローバル経済下の日本	34
	(1)輸出入の動き (2)外資の進出と技術移転	
3	企業勃興と企業経営	36
	(1)最大企業の特徴 (2)大阪紡績 (3)日本鉄道 (4)三井物産	
第3章	「アメリカの世紀」の始まり	47
1	消費者資本主義と耐久消費財の普及	47
	(1)1920年代の経済成長 (2)研究開発の内部化	
2	企業経営の革新	50
	(1)流れ作業による大量生産：フォード (2)多角化と事業部制組織：デュボンとGM (3)ウェルフェア・キャピタリズム：GE	
3	海外直接投資の始まり	60
	(1)債務国から債権国へ (2)海外直接投資と多国籍化	
第4章	国際関係の中の第2次産業革命	63
1	1920・30年代の日本経済	63
	(1)重化学工業化の進展 (2)国際経済関係	
2	大企業の成長	68
	(1)日本の巨大企業 (2)重化学工業化と大企業の成長	
3	統合企業の経営	70
	(1)日本製鉄 (2)東京電気と日立製作所 (3)日本窒素肥料 (4)森永製菓と資生堂	

第II部 20世紀型大企業の成熟

第5章	ニュー・ディールと第2次世界大戦	83
1	大恐慌から第2次世界大戦までのアメリカ経済	83

	(1)マクロ経済の動き	(2)研究開発	
2	ニュー・ディール政策	86	
	(1)金融封じ込め	(2)市場秩序の回復	(3)政府と企業との関係
3	戦時生産体制	87	
	(1)大企業の生産能力	(2)労働組合の定着	(3)研究開発体制の形成
4	大企業の経営	89	
	(1)US スチール	(2)GM	(3)GE (4)航空機製造企業
第6章 連続と断絶 98			
1	市場と経済の動き	98	
	(1)市場と工業生産	(2)研究開発	
2	戦時期の企業経営	101	
	(1)統制と管理	(2)財閥の展開	(3)三菱重工と中島飛行機 (4)東京芝浦電気の軍需生産
3	復興期の企業経営	108	
	(1)戦後改革	(2)経営管理の進展	(3)トヨタ自動車の生産システム
第7章 パクス・アメリカーナと大企業114			
1	市場と生産の拡大	114	
	(1)「豊かな社会」の実現	(2)科学技術政策と連邦政府の役割	
2	IMF・GATT 体制	117	
	(1)通貨の交換性回復	(2)貿易体制の構築	
3	巨大プロジェクト	119	
	(1)原子力開発	(2)宇宙開発	(3)IBM システム360
4	大企業の展開	123	
	(1)GE における事業部制の展開	(2)コングロマリットの出現	(3)多国籍企業化

第 8 章 高度成長と企業経営……………131

- 1 マクロ経済の動き 131
(1)経済と市場の成長 (2)製造業の成長 (3)高度成長に寄与した要因
- 2 国際経済関係 133
(1)国際収支の天井 (2)技術導入と研究開発の進展
- 3 企業経営の展開 137
(1)企業間関係 (2)経営管理手法の進化
- 4 重化学工業企業の展開 140
(1)鉄鋼：川崎製鉄 (2)自動車：トヨタ自動車 (3)家電：松下電器産業

第Ⅲ部 グローバル化の中の日米企業

第 9 章 ニクソンショックから日米摩擦へ……………151

- 1 1970年代のアメリカ経済 151
(1)スタグフレーション (2)国際資本取引の自由化 (3)研究開発
- 2 アメリカ企業の競争力低下と日米経済摩擦 156
(1)鉄鋼産業：US スチール (2)自動車産業：GM (3)電機産業：GE
- 3 アメリカ企業の新たな動き 164
(1)ハイテク企業の胎動 (2)サービス企業の展開

第 10 章 ジャパン・アズ・ナンバーワン……………168

- 1 安定成長 168
(1)高度経済成長から安定成長へ (2)製造業の成長
- 2 輸出主導型経済 171
(1)成長パターンの変化 (2)輸出産業
- 3 オイルショックと企業経営 173

	(1)「減量経営」とME化	(2)同質的競争	
4	産業と企業の動向	175	
	(1)自動車産業	(2)半導体産業	(3)汎用コンピュータ (4)経営戦略と組織
第 11 章	リストラクチャリングからニュー・エコノミーへ	186	
1	1980・90年代のアメリカ経済	186	
	(1)新自由主義による経済再編	(2)大量生産体制の変容	(3)IT産業の成長とニュー・エコノミー
2	大量生産体制の動揺	191	
	(1)自動車産業におけるリエンジニアリング	(2)リストラクチャリング	
3	IT産業のグローバル展開	198	
	(1)半導体産業における日米逆転と再逆転	(2)マイクロソフトとインテル	(3)グローバル生産ネットワークの構築
第 12 章	製造業のグローバル展開	203	
1	バブル経済から「失われた10年」へ	203	
	(1)印象的な日本企業の動き	(2)マクロ経済の動き	(3)研究開発
2	プラザ合意と日本経済の変化	206	
	(1)バブル経済の形成と崩壊	(2)本格的な多国籍化	
3	製造業企業の展開	209	
	(1)自動車産業	(2)エレクトロニクス産業	(3)化学産業
第 13 章	ネットワーク化と統合化	220	
1	ファンド資本主義	220	
	(1)国内市場の成長	(2)金融資産の蓄積とファンド	
2	研究開発とイノベーション	222	
	(1)研究開発投資の拡大	(2)特許の拡大	
3	複合企業の苦悩	224	

(1)代表的アメリカ企業の変化 (2)アクティビストファンドと GE (3)M&A
による事業再編

4 サービス化とネットワーク化 229

(1)IBM (2)IT プラットフォーマー

第 14 章 「失われた」成長237

1 2000～20年の日本経済 237

2 国際経済関係の変化 238

(1)貿易構造 (2)投資で稼ぐ国

3 日本企業の変容 240

(1)日本のトップ企業 (2)日本企業の所有者 (3)投資抑制

4 複合企業・統合企業の苦悩 245

(1)エレクトロニクス産業の構造変化 (2)総合電機企業の解体

5 グローバル競争優位の確立 248

(1)専業企業の展開 (2)グローバルマーケットをつかむ (3)複合経営

人名索引 257

事項索引 259